

2020年度 全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第17回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー I N北海道 十勝地区予選

開 催 要 項

1. 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
2. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会・日刊スポーツ新聞社・一般社団法人十勝地区サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人十勝地区地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟
4. 後 援 (公財)日本サッカー協会・十勝教育局・帯広市教育委員会
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
6. 協 賛 ホクレン農業協同組合連合会
7. 期 日 2019年10月5日(土)・6日(日)
8. 会 場 十勝川河川敷サッカー場
9. 参加資格
 - (1) 「参加チーム」は、今年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
 - (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
 - (3) 「参加選手」は、2008年4月2日以降に生まれた現5年生以下であること。
 - (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
 - (5) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
 - (6) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険等)に加入していること。
 - (7) 「参加チーム」は日本スポーツ少年団に登録したチーム及び選手であること。
10. 参加チーム及びその数
 - (1) 「参加チーム」の構成は、選手16名以上20名以内、引率指導者4名以内とするが、5学年だけでその人数を超えるチームはその人数まで登録を認める。
 - (2) 複数チームの参加を認めるが、5学年の人数が24名以上であることを要する。ただし、参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合がある。日程消化が可能な申し込みチーム数に余裕があり、これを超える申し込みがあった場合は、5学年の人数が多いチームを優先する。
11. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
12. 大会形式 1次ラウンドはリーグ戦を行い、成績上位の数チームが2次ラウンド(決勝トーナメント)に進
※ 大会形式は参加チーム数により変更あり。
13. 競技方法
 - (1) プレーの時間:36分(12分-12分-3分-12分 3ピリオド)
 - (2) インターバル(ピリオド間):第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は3分とする。
 - (3) エンドの決定:
第3ピリオドのエンドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
 - (4) 試合の勝者を決定する方法
1次ラウンド順位は勝点(勝-3点、引分-1点、負-0点)、得失点差、総得点、対戦相手の順で決定する。ただし、同率の場合はリーグ戦終了後、PK方式で順位を決定する。
準決勝と決勝では時間内に勝敗が決しない場合は6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお、なお決しない場合は試合終了時に出場している選手によるPK方式(3名)で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分:PK方式に入るインターバル:1分
 - (5) 選手の交代
・競技者の数は、常に8人(内1人はGK)とする。
・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
・第1ピリオド出場の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。

- ・交代要員を含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することはできない。事故・けが等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になった時に限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)

①第1ピリオド

- ・予め決められた第1ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。交代要員:提出したメンバー表に出場印がついていない選手。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)

②第2ピリオド

- ・予め決められた第2ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場できる。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)

③第3ピリオド

- ・第1・第2ピリオドの両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場できる。
- ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

③延長戦

- ・交代要員を含め誰でも出場できる。
- ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(6) 交代の手續

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
 - ・交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ・交代は、主審補助審判の承認を得る必要はない。
 - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (7) テクニカルエリア:設置しない。ベンチがテクニカルエリアとなる。原則テクニカルエリアを出て指示することはできない。
- (8) ベンチに入ることができる人数:最大選手12名(例外規定あり)・指導者4名
原則2名以上の指導者がベンチに入ることを義務付けする。
- (9) 審判員:主審1名、副審2名、補助審判1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。
- (10) アディショナルタイムの表示:実施しない
- (11) ファウルと不正行為
- ・警告・退場:通常の競技規則に準ずる。
 - ・退場:当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 - ・退席処分:ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して意義を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- (12) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許可される引率指導者の数:2名以内
- (13) 登録選手証:本大会に出場する選手は、(公財)日本サッカー協会の発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付による顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では印刷したものを示す。本大会ではスマートフォンやPC等の場面に表示したものは、不可とする。
- (14) ピッチサイズ:縦68m×横50mの大きさを使用する。
ペナルティエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角に12m
ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角に4m
センターサークル:半径7m・ペナルティマーク:8m
ペナルティアーク:半径7mの半円弧・フリーキック時の壁との距離7m
- (15) ゴール:ゴールの内のり縦2.15m、横5m

- (16) ボール:4号球
- (17) コーナーキック:ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上離れる。
- (18) グリーンカードの導入

14. ユニフォーム
- (1) 試合に際しては、大会参加申し込みの際に登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。
 - (2) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づいたユニフォームを使用すること。

15. 懲罰
- (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
 - (2) 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - (3) 本大会の規律フェアプレー委員会の委員長は(一社)十勝地区サッカー協会4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
 - (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
 - (5) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置においては本大会規律フェアプレー委員会で決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている場合は、試合を停止する。
 - (6) 本大会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては大会規律委員会にて決定する。

16. 参加申し込み

「参加チーム」は以下の手続きを期日までに完了すること。

参加申込書提出(所定のファイル)

大会参加料(6,500円)(内連盟負担金500円を含む)の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。

複数参加希望のチームは、申込書に2チーム目の記載をし、申込み締め切り後、参加可能と認められた場合に2チーム目の参加料を納入すること。

選手変更・追加登録は、監督会議までに所定のファイルにより再提出すること。

参加申込み締切 2019年9月17日(火)17時必着とする。(以後の受付はしない)

【申込み先・申込みの問合せ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種事務局長 宇野和哉

Eメールアドレス monpy@sea.plala.or.jp

携帯090-2814-2267

【競技事項の問い合わせ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種委員長 草野康一

携帯090-1648-5844

会参加料等振込口座(振込用紙に必ず大会名、チーム名を記載すること)

銀行名:ゆうちょ銀行

口座番号:02730-8-39544(郵便振替口座)

口座名:十勝少年サッカー連盟

17. 組合わせ

監督会議において抽選し確定する。

18. 帯同審判

出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(3級以上)を1名以上帯同させること。

帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込み書に記載すること。

帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとし、主審は(3級以上)の者が行い副審、補助審は(4級以上)のものが行う。チーム役員を兼ねる場合は審判業務を最優先する。(3級以上)を帯同できない場合は、申込み締切日までに下記あてまで連絡し、不帯同料として1試合毎3,000円を大会当日の朝、大会本部に納入すること。

【審判に関する問い合わせ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種審判委員長 杉野全由

Eメールアドレス chapos-5@m2.octv.ne.jp

携帯090-3112-3711

19. 監督会議

2019年9月27日(金) 19時 十勝プラザ4F 403講習室

監督又はそれに準ずる者が出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

20. 開会式

行わない。

21. 閉会式

2019年10月6日(日) 時間未定 準決勝進出4チームの出席とする。

22. その他

- (1) 選手証は大会初日、当該チーム試合前に確認する。
- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- (3) 大会参加にあつたては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に「大会参加にあつたての注意事項」を遵守しなければならない。
- (4) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会(4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成)において協議のうえ対処する。
中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (5) 観客席は選手席のコートを挟んだ向かい側に限定する。
- (6) 父母席(観客席)からのサイドコーチングを禁止する。
- (7) 対戦チームに試合を開始できない瑕疵が生じた場合は対戦チームを0-5の不戦敗とする。
- (8) 本開催要項にない事例に関しては主管地区協会4種委員会において判断し対処する。
- (9) 全道大会 2020年4月 場所 未定

以 上